

フランス失業率10年ぶり低水準、1～3月で8.7%に低下



5月16日（木）、INSEE（フランス国立統計経済研究所）によると、2019年第一四半期（1月～3月）の失業率は8.7%と10年ぶりの低水準となりました。

フランス本土のみで8.4%、2009年以来の低水準

本日INSEEが発表した概算によると、フランス全土（マイヨット県（Mayotte）以外の海外県を含む）の2019年第一四半期の失業率は前期比0.1%減の8.7%で、2009年以来10年ぶりの最低水準に達しました。

フランス本土（注）のみでは0.3ポイント減の8.4%となり、同じく10年ぶりの低水準となります。よって第一四半期で失業者数は1万9千人減少し、240万人となりました。

しかしながら、失業率が0.3ポイントつまり失業者が9万人減った前期（2018年10月～12月）、および過去一年間の失業率（0.5ポイント減）と比べ減少のペースが鈍化しています。

年齢層により失業率の増減に差

年齢層別で見ると、15～24歳の若者の失業率は過去1年間で1.7ポイント減と大きく改善したものの、今回の発表では0.4%の増加に転じ、19.5%の高い水準にとどまっています。また、50歳以上の失業率も0.3ポイント増加しています。

失業率が改善したのは25歳～49歳という働き盛りの層で、0.2ポイント減の7.7%となりました。

長期失業者、労働人口3.3%の96万人

フランス全土における1年以上の長期失業者は2019年の第一四半期で0.1ポイント減の96万3000人で、これはフランス労働人口の3.3%にあたります。

なお、フランスの就業率（15歳～64歳までの人口における就業者の割合）は66.1%と安定しています。また、フルタイム労働の割合は54.3%で、これは2003年以来の高水準であるとINSEEは発表しています。

（注）フランス本土（France métropolitaine）はフランスのヨーロッパにおける領土を指し、フランス本国およびドーバー海峡の島、コルシカ島などの地中海の島を含みます。

執筆：マダム・カトウ

オンラインフランス語学校

ENSEMBLE EN FRANÇAIS

アンサンブルアンフランセ

オンラインフランス語学校アンサンブルアンフランセは、プロの講師によるマンツーマンのスカイプレッスンが1回1500円～受講できます。いつでもどこでも手軽に受講できる利便性と生徒一人一人にカスタマイズされた質の高いレッスンが好評です。

